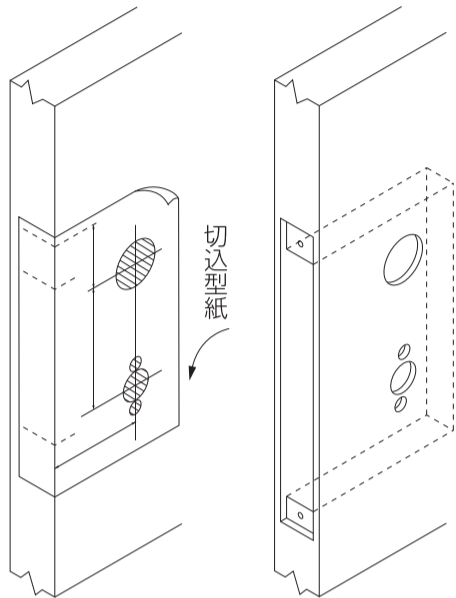


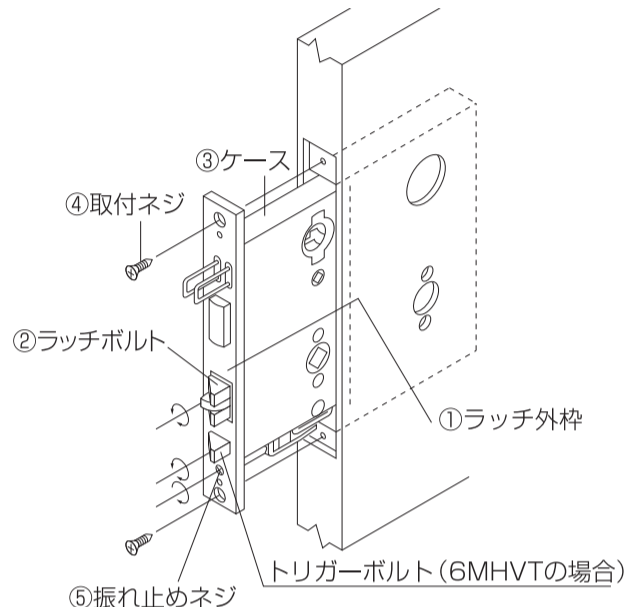
## 1 取付穴をあける

裏面の切込型紙に従って、錠本体の彫り込みおよび取付穴をあけてください。



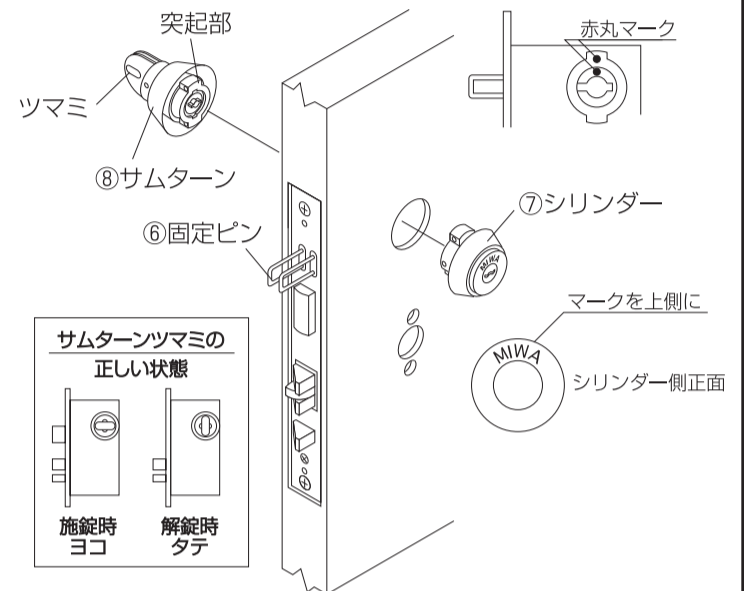
## 2 ケースの取り付け

- 1) 扉の開閉方向に合せ、ラッチ外枠①を引き出しラッチボルト②の向きを定めてください。  
(6MHVTの場合はトリガーボルトの向きも定めてください。)
- 2) ケース③を取付ネジ④にて、ゆるく締めてください。  
(このときデッドボルトは引込めておいてください。)
- 3) ケース前面の振れ止めネジ⑤を右方向に回してケースの振れを止めてください。  
ケースが扉の厚さ方向に対して中心についていない場合は、振れ止めネジを締めないでください。振れ止めネジを締めると、ケースが振れ、作動を妨げる原因となります。
- 4) その後取付ネジ④を強く締めてください。



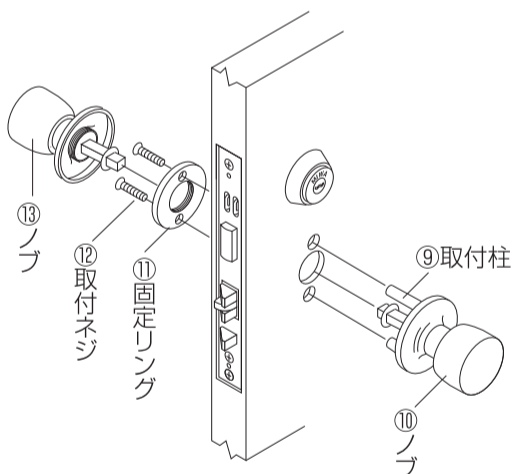
## 3 シリンダー、サムターンの取り付け

- 1) 固定ピン⑥を引き出ししてください。
- 2) 下図のように赤丸どうしを合せシリンダー⑦はMIWAマークを上向きにし、ケース穴に合せ押えながら固定ピン⑥を押し込み取り付けてください。
- 3) サムターン⑧は突起部とツマミを垂直にしてケース穴に合せ、押えながら固定ピン⑥を押し込み取り付けてください。
- 4) 固定ピン⑥は面一になるまで打ち込んでください。



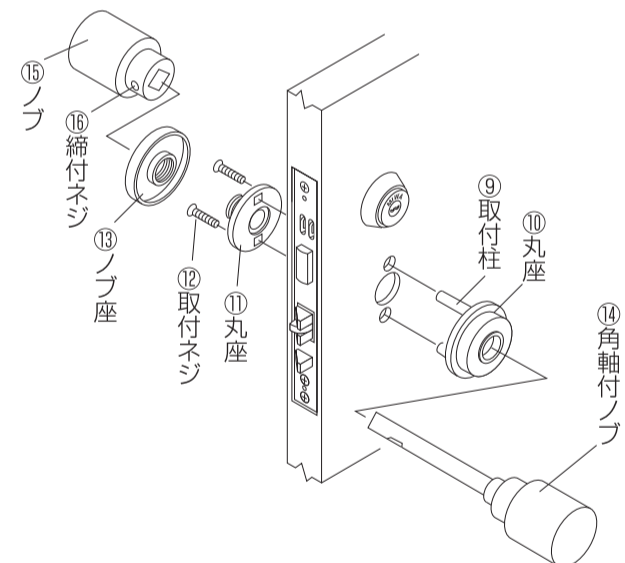
## 4 ノブの取り付け

- 1) 室外側より取付柱⑨のあるノブ⑩をケース穴に合せて挿入してください。
- 2) 室内側より固定リング⑪を取付ネジ⑫にて取り付けてください。
- 3) 室内側のノブ⑬を挿入し右方向にねじ込んで取り付けてください。



## K型ノブの場合

- 1) 取付柱⑨のある丸座⑩を室外側より挿入し、室内側より丸座⑪を取付ネジ⑫にて取り付けてください。次にノブ座⑬をそれにねじ込んでください。
- 2) シリンダー側より角軸付ノブ⑭を差し込み、サムターン側よりもう一方のノブ⑮を締付ネジ⑯にて取り付けてください。

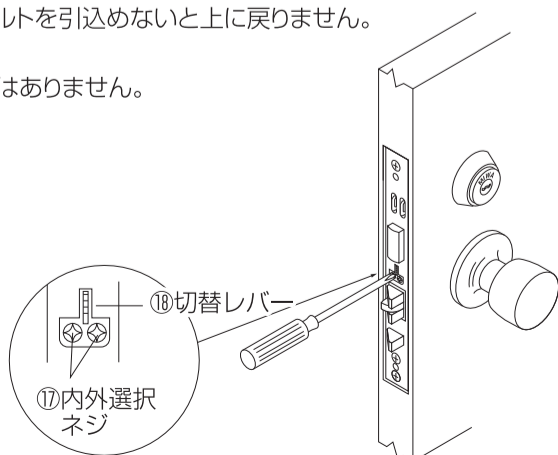


## 5 室内室外の選択 (6MHVTの場合)

- 1) 6MHVTの場合は、フロントの切替レバー⑱を下に倒すと自動施錠になり、室外側のハンドルが空転となり、室内側のハンドルはいつでもラッチを作動できる状態が正常な形です。
- 2) そのためには、室内側に位置した内外選択ネジ⑲をドライバーでゆるめて抜いてください。

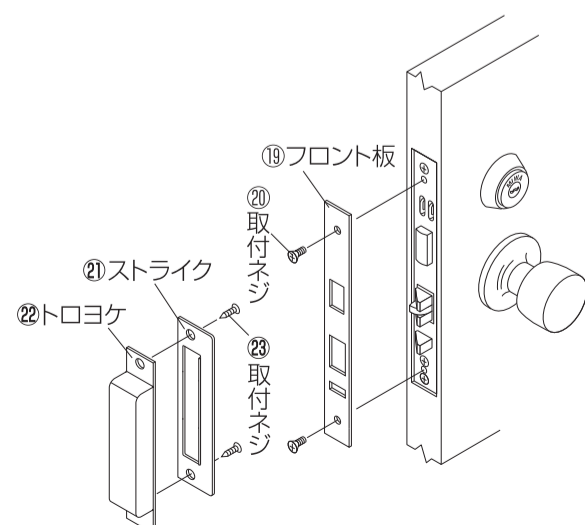
注) 切替レバー⑱は、ラッチボルトを引込めないと上に戻りません。

注) 6MHVT-Aにはこの機構はありません。



## 6 フロント板、ストライクの取り付け

- 1) フロント板⑲を取付ネジ⑳にて取り付けてください。
- 2) 最後にストライク㉑とトロヨケ㉒をラッチボルトおよびデッドボルトに合せて取付ネジ㉓にて取り付けてください。



# 6MHV型切込み型紙

